

平成○年（○）第○号 ○○被疑事件

被疑者 ○ ○ ○ ○

（昭和○年○月○日生まれ，○○警察署収容）

勾留執行停止申立書

平成○年○月○日

○○地方裁判所 御中

弁護士 ○ ○ ○ ○

上記被疑者に対する頭書被疑事件について，下記のとおり勾留執行停止を申し立てる。

記

第1 申立の趣旨

- 1 被告人に対する勾留の執行を平成○年○月○日から平成○年○月○日まで中止する
- 2 勾留執行停止中の制限住居を○○県○○と定める
との裁判を求める。

第2 申立の理由

- 1 刑訴法95条所定の「相当と認めるとき」には，家族の死亡が含まれるところ（東京地決昭和42年2月21日判時475号62頁），被疑者の父親は，平成○年○月○日午前中に死亡したため，勾留の執行を停止されたい。

なお，平成○年○月○日仮通夜，○日通夜，○日13時より葬儀が執り行われる予定であるから，○日中には遅くとも釈放されたい。

2 被疑者の父親の葬儀等は〇〇（〇〇県〇〇）で執り行われる予定であるから、制限住居は、被疑者の実家である〇〇県〇〇と定められたい。

3 ところで、本件事案は罪名こそ重大事件であるものの、その行為は突発的であり、被害も小さく、上司が監視監督する旨陳述しているところから、起訴猶予もしくは罪名を変更して略式起訴の見込みも十分に考えられる事案である。

また、被疑者の母親も体調不良により、現在入院中であり、被疑者の果たす役割は大きいものである。

かかる事案であるにもかかわらず、執行停止がなされないとすれば、勾留目的以上に被疑者及び被疑者家族に苦痛を与えるに他ならない。

また、被疑者の制限住居地が〇〇県であるため、往路に時間がかかるため、葬儀の翌日までの執行停止を求めるものである。

なお、条件として、被疑者と被害者との接触禁止を付していただくことについて、両者とも了承している。

以上

添付書類

- | | |
|--------------------|-----|
| 1. 陳述書（A：被疑者の妻） | 1 通 |
| 2. 身元引受書（B：被疑者の上司） | 1 通 |
| 3. 陳述書（C：被疑者の上司） | 1 通 |